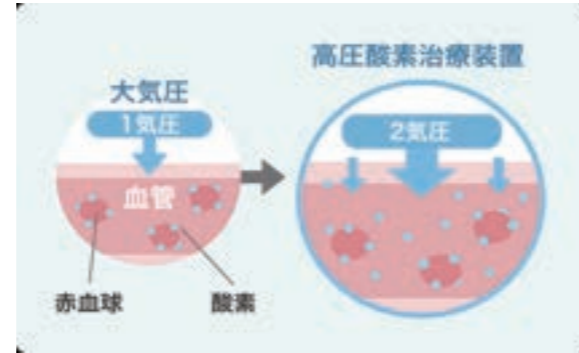


高気圧酸素療法とは？

高気圧酸素治療装置の中に入り、2～3気圧に加圧された状態で、純酸素吸入することにより血液中の酸素濃度を通常の10～20倍にすることが出来ます。この原理を利用し、患部に血液を介して多くの酸素を送り、障害組織の再生、炎症の早期沈静化を促す治療法が高気圧酸素です。

高い気圧の中では酸素が圧縮して、直接血液に溶け込みます。



幅広い疾患が対象になります

- 脳梗塞
- 重症頭部外傷後もしくは開頭術後の意識障害
- または脳浮腫
- 急性一酸化炭素中毒およびその他のガス中毒
- 重症軟部組織感染症
- 壊死性筋膜炎、ガス壊疽(または頭蓋内膿瘍)
- 急性末梢血管障害
- 減圧症または空気塞栓
- 突発性難聴
- 網膜動脈閉塞症
- 脊髄神経疾患
- 骨髄炎または放射線障害
- 放射線または抗がん剤治療と併用される
- 悪性腫瘍
- 重症の低酸素脳症
- 腸閉塞
- 難治性潰瘍を伴う末梢循環障害
- 皮膚移植

治療回数の例

脳梗塞： 1日1回 約1時間30分 × 10回
突発性難聴、網膜動脈閉塞症などの場合：
1日1回 約1時間30分 × 30回

※ 疾患状況や医師の指示により増減することがあります。

※ 外来の場合、初回は治療前に診察を行い、2回目以降は治療後に診察を行います。

高気圧酸素療法をご希望の方は外来受診が必要です。
外来受診の時に担当医にお申し出ください。
ホームページもご参照ください。

<https://www.kimura-hp.or.jp/>



Asociado

みんなの元気のパートナー

2022年
12月



今年のカレンダーも残すところあとひと月分となりました。木村病院は5月に移転という法人としての大イベントがあり、今年は、「あっ」という間に過ぎて行った感があります。

COVID-19は第8波を迎え、その上インフルエンザの患者さんもみられ始めてます。そして、私共医療機関は、医療崩壊を招かないよう尚一層緊張した日々を送っています。

インフルエンザとCOVID-19のワクチン接種は同時にすることができ、もし、罹患した場合でもワクチン接種しなかった方より重症化しないと言われておりますのでどうぞご利用ください。とは言え、皆様から電話の問合せ等が多く、特に朝はつながりにくい状態となっておりますことをお詫びいたします。

さて、毎年皆様にお伝えしている2021年度分「病院の機能や診療の状況を示す数値」をお知らせいたします。2021年度は町屋の病院の最後の集計数値となります。COVID-19の流行は2020年度、2021年度の数値に大きく影響しました。2022年5月からは南千住の新しい病院での移行期の数字となり、ベッド数も88床から99床に増え、透析やMRI検査、高気圧酸素療法も始めましたので町屋の病院との推移を見ることはできないと考えます。そして、新しい病院の歴史の一步が始まります。

新しい南千住の病院では旧病院とは外来運用も大きく変わり、当初、皆様にご迷惑をおかけすることも多々あり申し訳ありませんでした。

AI問診(タブレットを使った問診)のような新しい事も始めました。時代に沿った病院として努力してまいりますので今後ともよろしくお願いたします。

社会医療法人一成会 木村病院
院長 木村 玄



2021年度 クリニカルインディケータ

病院の機能や診療の状況を示すさまざまな数値をお伝えします。

外来延患者数

30,674人/年 (103.6人/日)



外来診療を受ける患者さんの数です。この中には救急車で運ばれて来た患者さん、電話診療の数も含まれています。毎日の患者数を足し合わせて、年間の延患者数になっています。2020年度より1800人近く増加しました。

専門外来には、日本医科大学病院・日本大学病院・帝京大学病院の医師が出張して診察しています。そして、必要な場合は、自分の大学病院へ紹介しています。大学病院の外来受診するときに必要な「選定療養費(5000円以上)」を払う事なく、大学病院の専門医の診察を受けられます。

手術件数 680件/年

手術の内訳

外科 566件
整形外科 84件
皮膚科 30件



コロナの影響で減少していた手術件数は、持ち直してきました。2020年度比83件増です。しかし、コロナ以前の数字には追いついていません。必要な患者さんにタイムリーに手術ができるようになる必要があります。

内視鏡検査件数 552件/年

上部内視鏡 410件
下部内視鏡 142件



上部内視鏡検査については、区の健康診査を受託しており、136件の上部内視鏡検査が含まれています。内視鏡検査に熟練した専門医が検査を行なっております。新病院では検査室も増やし、機器も刷新して臨んでいます。

画像検査件数 CT撮影 2,530件/年



開業医の先生と連携して、検査の依頼を受けています。CT検査の他、エコー検査等の痛みのない検査もいろいろあります。新病院ではMRI検査も始めました。

新規入院患者数

727人/年

月平均60人の方が新たに入院してきます。



平均在院日数

2階 急性期病棟 21.9日
2階 地域包括ケア病床 24.1日
3階 障害者病棟 85.8日

2022年3月の数字です

2022年3月はコロナの第6波の影響と新病院移転の準備で大変な状況でした。平均在院日数は急性期病棟では長くなり、他の病棟では短くなりました。

救急車受入件数

921件/年

入院 320件
外来 601件
(うち休日夜間 495件)



毎日2.5台の救急車を受け入れています。

他院・他施設からの紹介患者数

679件/年

他の病院やクリニック・診療所、介護施設などから、紹介を受けて木村病院に来院する患者さんの数です。外来と入院があります。



他病院 → 木村病院

- ① 東京女子医大足立医療センター 85件
- ② 日本医科大学付属病院 49件
- ③ 日本大学松戸歯学部付属病院 16件



診療所 → 木村病院

- ① やたがいクリニック 18件
- ② 町屋駅前クリニック 16件
- ③ 宮の前診療所 15件

木村病院は地域の病院として、患者さんが最適な医療を受けることができるようにすることが大切だと考えています。そのために、他の医療機関に紹介することも役割の一つと考え、たくさんの医療・介護施設と連携しています。荒川区内に血管外科を標榜しているのは当院だけのため透析関連機関からの紹介が増えています。コロナの影響で減少していましたが、徐々に回復しています。

訪問看護ステーション みどり・わかば

年間延利用者数 1,481人
年間訪問回数 9,428回
連携医療機関数 約80カ所
年間看取り人数 17人



昨年より延べ利用者数で16人、訪問回数で293回、お看取りの方も5人多くなりました。在宅療養の希望は多く、訪問診療の件数も伸びています。需要に応えるためにスタッフを充実させることが必要と考えています。

1日平均入院患者数・病床稼働率

2階 急性期病棟 (42床) 39.7人/日 94.5%
2階 地域包括ケア病床 (9床) 8.8人/日 97.5%
3階 障害者病棟 (37床) 36.3人/日 98.2%

旧木村病院の病床数は、88床でした。その88床に、1日あたり何人の患者さんが入院しているのかを表すのが、「1日平均入院患者数」です。全病床88床のうち、それぞれ何床が患者さんで占められているかという比率が病床稼働率です。2022年5月の移転のために稼働率を抑えていましたが、それでも100%に近い数字でした。

他院・他施設への紹介患者数

1,004件/年

他の病院やクリニック・診療所、介護施設などへ、木村病院から紹介する患者さんの数です。

木村病院 → 他病院

- ① 日本医科大学付属病院 103件
- ② 東京女子医大足立医療センター 87件
- ③ 都立駒込病院 37件



木村病院 → 診療所

- ① 入谷クリニック 14件
- ② 宮の前診療所 11件
- ③ 町屋駅前クリニック 9件



法人の理念
「みんなの元気のパートナー」を実践するため、地域で何をすべきかを常に念頭に置いて運営しています。